

三和新聞 號外

昭和29年10月6日(水曜日)

十八娘がピストル暴発

平署鈴木義信巡査に命中死亡

昨夜平市七丁目で

五日午後七時五十分ころ平市ね宜町二下宿業ふくべこと斎藤ハツエさん(46)方で同家に止宿している平署の監房看守係鈴木義信巡査(28)が部屋つづきの土間の椅子に腰をかけていると折柄顔を出した隣家の某美容院の見習某女(18)が同巡査が押入れの布団の上においたピストルをもてあそび「あぶない」と注意した瞬間、ピストルが暴発、同巡査の左腹部に命中昏倒した、竹林病院で手当を加えたが十時四十分出血多量で死亡した、鈴木巡査は八月若松署から轉勤したばかりで妻子を若松に残し単身赴任同家に止宿していたもの加害者某女は過失致死の疑いで取調べている